# 5000人のファンが酔った セントラルのスピード&迫力

5月25日、関西ゼロヨンのメッカとなったセントラルサーキットで、トライアル、トップフューエル、ガレージ福井SPLの3社が中心になって開催された「スーパー0-400フェスティバル」。内容は一般ユーザー対象のクラス別ゼロヨン、トップガントーナメント戦、そしてGT-Rワンメイク戦と盛りだくさん。

午後に天候が崩れそうだったため、残念ながら午前中の一般ユーザー参加イベントは短縮されてしまったが、それでも各ショップの自慢のマシンがピットに並べられると、そこは一気にチューニングカーショー状態に。そして競技が始まった。

今回採用されたトーナメントのトップガン方式を簡単に説明しよう。まず予選2回を走行してベストタイムを計測。本戦では2台のマシンのうちベストタイムの遅いマシンが先にスタートし、ベストタイムの差をおいて速いマシンがスタート。これでゴール付近が非常にスリリングとなるというわけだ。しかも予選タイムより速いタイムをマークすると失格となる厳しいルールなのだ。

一旦は高知トリプルAの180SXが優勝と発表されたが、計測機器の不調などもあり準決勝からやり直しに。しかし夕刻には雨が降りだして、結局5台が優勝という結果になってしまった。GT-Rバトルも後半は雨に見舞われてしまった。次大会は10月開催を予定しており、次回こそスムーズな運営と好天に期待したいものだ。


タイヤを温めるバーンアウトによる白煙がすごい。


GT-R戦ベストを叩き出したHRFホクエ。


トリプルAの岡本幸夫、右はゲストの飯田裕子。


DaiちゃんのあのGT-Rワゴンも登場した。


プラットホームまで入れるので迫力はさらに増す。


スタート地点の風景。熱心なファンはコース脇に陣取りスリルあるスタートを楽しむ。